

## 台風18号の被災者を支援する募金活動を開始

☎福祉課 36・7407

市では、鬼怒川の堤防が決壊し広範囲にわたって浸水被害を受けた茨城県常総市などを支援するため、9月15日から災害義援金の受け付けを始めました。

受付初日となったこの日は、本庁舎正面玄関ロビーで、日本赤十字社静岡県支部島田市地区長の染谷市長や、島田市赤十字奉仕団島田分団の土田美穂子分団長などが、訪れた市民に支援を呼び掛けました。  
集まった義援金は、日本赤十字社を通じて、被災された皆さんのもとへ

届けられます。

義援金の受け付けは11月30日(月)まで行っていますので、ご来庁の際は、ぜひ、被災地支援にご協力ください。



被災地支援を呼び掛ける土田分団長たち

## ゆめ・みらい百人会議の7分科会が提案発表

☎協働推進課 36・7402

9月5日、プラザおおるりホールで「ゆめ・みらい百人会議 提案発表会」が行われました。

ゆめ・みらい百人会議は平成25年10月に設置され、約100人の市民が、観光や産業など7つの分科会に分かれて、市のまちづくりを検討してきました。約2年間の集大成となる発表会では、分科会ごとに活動の成果やこれからのまちづくりに対する提案が発表されました。

市では提案を基に、どのように市政に反映するか検討の上、回答を提

示する予定です。

※提案の詳細については、市ホームページでご覧いただけます。

☎ <https://www.city.shimada.shizuoka.jp/kyodo/hyakuninkaigi.html#teian>



発表する登壇者

## 別所哲也氏に島田市ふるさと大使を委嘱

☎秘書政策課 36・7117

9月5日、市では地元出身の著名人に市をPRしてもらう「島田市ふるさと大使」として、俳優の別所哲也氏に委嘱状を交付しました。

交付式では、染谷市長が「市の魅力を広く発信してほしい」と期待を伝えました。別所氏は「島田市は自由に生き、何事にも挑戦できる環境をくれたふるさと。距離を置いて見えて来る、未来型の市の魅力を、世界中にPRしていきたい」と抱負を語りました。

この日は「第50回島田市英語ス



名刺パネルを手にする別所氏

## 大規模災害時の司法書士相談業務に関する協定締結

☎生活安心課 36・7153

市は9月4日、静岡県司法書士会と大規模災害時における被災市民を対象とした相談業務の実施について、協定を締結しました。

締結式では、杉山陽一会長と染谷市長が署名し、協定書を取り交わしました。市長は「専門の司法書士との協力は、市民の安心につながる」と挨拶し、杉山会長は「島田市より密な関係を築いていきたい」と話しました。

東日本大震災でも見受けられたように、大規模災害の被害者には、不

動産の登記や相続など、さまざまな問題が山積します。締結により、災害時に市の要請を受けた県司法書士会が司法書士を派遣し、無料相談による支援の実施が約束されました。



大規模災害時の支援を約束